

# 広島大学附属幼稚園 2019年度 幼児教育研究会のご案内

ごあいさつ

◆広島大学附属幼稚園は「大きな森にいだかれて自然と一緒に遊ぼう・あったか仲間にかこまれてみんなで一緒に遊ぼう」という教育理念のもと知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育み、また豊かな心・意欲・態度を育むことを教育方針としております。また本園は2016年度より、幼児期におけるESD(持続可能な開発のための教育)を考える研究開発学校として文部科学省から指定を受け、「自然とのかかわり」と「人とのかかわり」をベースにした構成概念や指導方法、評価方法などに関するルーブリックの作成、教育課程の見直しや実践を行って参りました。2017年告示の幼稚園教育要領には「持続可能な社会の創り手となることができるようにするための基礎を培うことが求められる」と記載されました。昨年度は、西日本豪雨災害による土砂災害が本園の裏山でも発生し、自然環境との持続可能なかかわりについて、自然災害という観点からも考えさせられることとなりました。◆文部科学省研究指定の4年次となります今年度は、このようなこれまでの流れを念頭に、幼児期における自然と人の関わりを通しての教育のあり方について、よりいっそう深化した検討を行っていきたいと考えております。◆保育者の方々をはじめ、幼児教育に関心のある皆さまに是非ご来園いただき、幼児期における保育のあり方について共に考え、研究開発へのご指導とご助言をもいただければ幸いです。

広島大学附属幼稚園長 高旗 健次

主催：広島大学附属幼稚園

広島大学大学院教育学研究科  
附属幼年教育研究施設

後援：広島県教育委員会 東広島市教育委員会  
広島県国公立幼稚園連盟 広島県私立幼稚園連盟  
広島県保育連盟連合会

## 文部科学省研究開発学校(4年次)

研究開発課題 持続可能な社会の担い手となるために、その基盤となる態度や資質・能力を明らかにし、「自然とのつながり」と「人とのつながり」の直接体験を通してそれらを育成する幼児期の教育課程の研究開発



## 研究大会

10月30日(水)  
9時～15時40分

9:00	受付
9:15	オリエンテーション <small>保育を見ていた だくにあたって の視点などをお 話しします。 (ホール)</small>
9:30	公開保育 <small>※森で行います。 動きやすい 服装でお越し ください。</small>

各年齢に分かれ  
て、ともに話  
し合える場にした  
いと思います。  
(各学年保育室)

11:10	分科会
12:00	昼食

13:00	研究報告
13:45	休憩

今年度の研究の  
まとめを発表し  
ます。  
(ホール)

14:00	講演
15:30	閉会

講師：掘越 紀香 先生  
(国立教育政策研究所幼児教育研究センター 総括研究官)

幼稚園教育要領の前文において、幼稚園等では、「持続可能な社会の創り手となることができるようにするための基礎を培う」ことが求められています。ESD(持続可能な開発のための教育)、SDGs(持続可能な開発目標)を視野に入れながら、幼児教育における人・もの・自然・社会との関わりや、ESDの視点を取り入れる意義について、附属幼稚園での実践と関連付けて考えてみましょう。

会場………広島大学附属幼稚園（東広島市鏡山北 333-2 / 082-424-6190）

参加費………◆研究大会：一般 2500 円 学生 1500 円（いずれも書籍代込み）  
◆保育者ためのワークショップ：1回につき 500 円（一般・学生共通）  
※いずれも当日受付で納付してください。

参加申込…E メールにて、開催日の 1 週間前までにお申し込みください。

<E メール> yochien@hiroshima-u.ac.jp

FAX の場合は参加申込書をご利用ください。

<FAX> 082-424-5528

アクセス…◇山陽本線「西条」駅からバス（広島大学線）で 10 分

「池の上学生宿舎前」下車

◇山陽新幹線「東広島」駅からタクシーで約 15 分（約 2000 円）

◇車でお越しの方は幼稚園駐車場をご利用下さい

その他………幼稚園の周辺には食事をする場所がありませんので、研究大会では弁当を販売します。ご希望の方は E メールにその旨を明記ください。FAX の場合は弁当欄に○印をご記入ください。価格は 700 円（お茶は付きません）です。

## 保育者ためのワークショップ

### 第1回 自然を使った保育の意味

2019年7月3日(水) 15:30～17:30

講師：菊間 韶 先生（広島県自然体験アドバイザー）

自然環境を活かした保育活動にはどんな意味があるのか。広島大学附属幼稚園の10年を振り返りながら考えてみたいと思います。自然の多様性と子どもの主体性の関係、そこで保育者に求められるものは何か？会場の裏山を使ってのワークショップを行なうながら、街の中の保育施設でどのような自然を活かした活動が可能か、一緒に考えてみたいと思います。

### 第2回 子どもが自ら育つ園庭整備 ～大人に必要な3つの安心感から～

2019年12月20日(金) 15:30～17:30

講師：木村 歩美 先生（保育環境研究家）

園のスタッフや保護者、地域の皆さんなどと一緒に整備した園庭で自分を生きる子どもたちの姿。それは、まさに人間が自指す理想の姿でした。子どもの「やってみたい」を応援したい大人の気持ちに必要なのは、3つの安心感。この安心感をベースに展開する園庭環境の整備について、全国にある実践園で撮影した多くの動画を紹介しながらお話をいたします。

2019年度 広島大学附属幼稚園 幼児教育研究会 参加申込書

所属名（国公幼・私幼・公保・私保・こども園・大学・学生・その他）

所在地

電話番号

参加者氏名	研究大会※参加希望の分科会に (10/30) ○印をつけてください				保育者のための ワークショップ
	分科会		弁当		
5歳児	4歳児	3歳児			
1					①自然 保育 (7/3)
2					②園庭 整備 (12/20)
3					
4					
5					